

## はじめに

JAXA スパコン JSS2 (JAXA Supercomputer System Generation 2) は 2016 年 4 月から本格運用を開始し 2 年が経過しました。今回の JSS2 ニュース

では、JSS2 平成 29 年度経営層向け成果報告会、および 2017 年度の JSS2 利用状況などについてご紹介します。

## JSS2 平成 29 年度経営層向け成果報告会

理事長奥村をはじめ多くの経営層が出席し、平成 30 年 3 月 19 日に JAXA スーパーコンピュータ JSS2 平成 29 年度経営層向け成果報告会が開催されました。得られた演算結果がどのような研究開発成果に繋がるのか、広く世の中のどんなことに役立つのか、研究開発の途上にあるものは、どのような成果の芽

になるかについて報告することを目的としています。また、JSS2 利用者だけでなく、計算を依頼した側も同時に参加し、双方の視点から報告しました。報告課題と担当部門は表 1 の通りです。

表 1 報告課題と報告部門

報告課題	担当部門
H3(LE-9 エンジン)設計開発における研開部門/3U 解析技術および JSS2 利用成果	第一宇宙技術部門 H3 ロケットプロジェクトチーム 研究開発部門第 3 研究ユニット
aFJR プロジェクトにおける JSS の利用	航空技術部門 aFJR プロジェクトチーム
FaSTAR 及び FaSTAR-Move、大規模 DNS	航空技術部門数値解析技術研究ユニット
高速流体力学に関する学術研究	宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系



成果報告会の報告概要は、平成 29 年度 JSS2 利用成果レポート(仮称)に掲載予定です。

## 2017年度 JSS2 利用状況

JSS2 のメインシステムである SORA-MA (JSS2 の主たる計算資源)の稼働時間は年間を通して非常に高い水準で推移しており、運用改善により 2016 年度に比べ稼働時間が増加しています(図 1)。

利用枠別で見ると、2016 年度に比べ各利用枠とも大幅に利用コア時間が伸びており(図 2)、重点利用、大学共同利用が約 1.5 倍、設備貸付が約 3 倍になっています。

事業分野別に SORA-MA のコア時間を見ると、航空科学、基盤技術、宇宙輸送、衛星利用のプロジェクト関連で 83%を利用しています(図 3)。

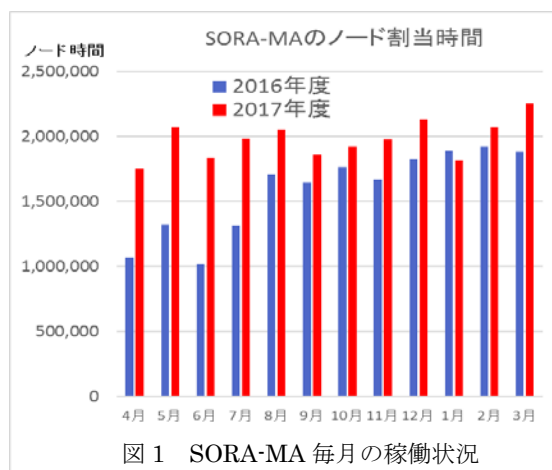


図 1 SORA-MA 毎月の稼働状況

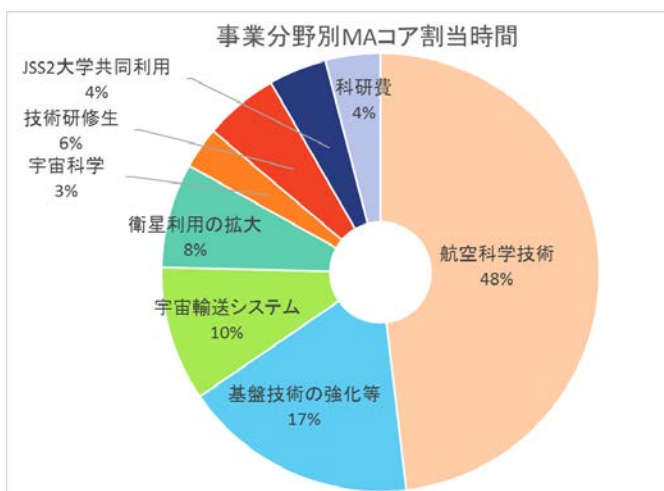


図 3 SORA-MA 事業分野別コア時間利用率



図 2 SORA-MA 事業枠別コア時間

## アウトリーチ活動

2017 年度の JSS2 見学者は、41 回、519 名と多くの方々が来訪され、JAXA スーパーコンピュータの歴史や研究成果に対する理解を深めて頂きました。所属カテゴリ別見学者数は次の通りです(図 4)。

4 月 22 日に一般公開が開催され、計算科学 3 号館とスパコン棟のロビーで、スパコン機器とパネルの展示、ビデオによる JSS 2 システムの紹介、シミュレーション結果の立体視を行いました。多くの方が来られ、70%以上の方が初めての方でした。

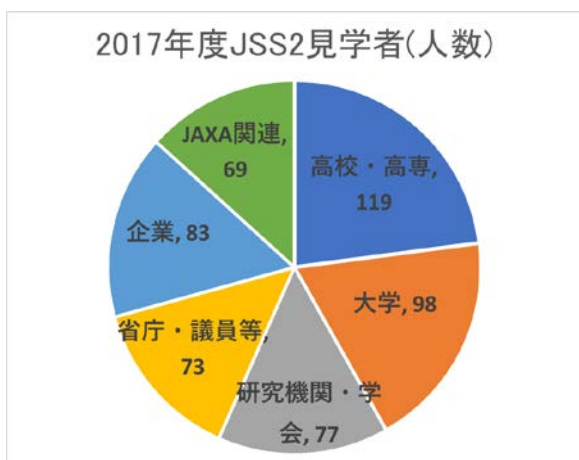


図 4 所属カテゴリ別見学者数



スパコン棟ロビー



計算科学 3 号館入口



お問い合わせ：セキュリティ・情報化推進部スパコン活用課  
 JSS 運用窓口：[info@jss.jaxa.jp](mailto:info@jss.jaxa.jp)  
 JSS2 公開 HP：<https://www.jss.jaxa.jp/>  
 JSS2 ポータル：<https://www2.jss.in-jaxa>  
 ☆JSS2News は JSS2 公開 HP でもご覧になれます。